

## 第29回経営協議会議事録

日 時 平成21年12月17日(木) 10時00分～12時8分

場 所 特別会議室

出席者 (学外委員)

赤岩委員、荒井委員、竹岡委員、鶴保委員、安田委員、吉田委員

(学内委員)

学長、辻理事、酒井理事、三木理事、福田電気通信学部長

多田情報システム学研究科長

(オブザーバー)

田中副学長、田野副学長、由良副学長、前田監事

第26回経営協議会及び第27、28回臨時経営協議会議事録報告承認(発言者名入りの議事録)

議 題

### □審議事項

1. 電気通信大学人事活性化大綱について (資料①)
2. 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等 (資料②-1～4)  
について
3. 第3次学内補正予算の編成等について (資料③-1～3)
4. 資金運用計画について (資料④)
5. 平成22年度以降における消費税算定方法等の見直しについて (資料⑤)
6. 国立大学法人電気通信大学規則等の制定に関する規則及び規程(資料⑥-1～2)  
について

### □討議事項

1. 教員一元化の制度設計について (資料⑦)
2. 全学教育・学生支援機構(仮称)の設置について (資料⑧)

### □報告事項

1. 平成20年度に係る業務の実績に関する評価の結果について (資料⑨-1～5)
2. 外部資金受入状況について (資料⑩)
3. 平成21年度第1次補正予算の執行の見直しについて (資料⑪)
4. 平成22年度科学研究費補助金の新規募集課題の公募停止について (資料⑫)
5. 平成21年度就職状況について (資料⑬)

6. (暫定)施設活用調整WGの設置について (資料⑭)
7. AWC C外部評価委員会報告書について (資料⑮)
8. 電気通信大学特別客員教授称号授与規程の制定及び特別客員(資料⑯-1～2)教授称号授与について
9. 電気通信大学感謝状贈呈要項の制定及び感謝状の贈呈について(資料⑰-1～2)
10. ICTトライアングルフォーラム2009実施報告について (資料⑱)
11. 「国際交流ラウンジ」の設置について (資料⑲)

□その他

1. 飯島澄男特別栄誉教授の文化勲章受章記念シンポジウムについて (資料⑳)

議 題

審議事項1 電気通信大学人事活性化大綱について

梶谷学長から、前回の本会議で討議いたしました人事活性化大綱について、学内からの意見等を踏まえ文言の整理を行った旨説明があり、以下の議論の結果、これを了承した。

- (学外委員) 技術職員の職務については、多種多様だと思われるが、教員に含めることは、どのような考えからか。
- (学内委員) 技術職員は、教育研究と密接に関連するため教育系に含めることとした。技術職員のあり方をWGで検討し、責任を持ってもらいやりがいを持たせる仕組みに変えたい。
- (学外委員) 産学連携で企業から来ていただいている人の取扱いはどうなるのか。
- (学内委員) 特任教員としており、教育一元化の中で一括してマネジメントする。

審議事項2 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等について

酒井理事から、文部科学大臣から通知のあった国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等について、本学は基本的な修正等は求められていないが、情報セキュリティ対策に係る記述のない74法人に含まれており、当該記述を追加したい旨、また、全国立大学法人に検討が求められた「各法人の目指す方向性が明らかになるよう一層の個性化が明確となる中期目標及び中期計画とすること」について、各法人の目指す方向性等及び具体的な記述箇所等を示し、素案の記述内容は変更しないこととしたい旨説明があり、これを了承した。

なお、中期計画に記載することが必要な事項等については、平成21年12月15日付けで文部科学省から連絡があったため、学内において調整中であり、提出期限が、平成22年1月20日となっていることから、日程上メール審議としたい旨説明があり、これを了承した。

(学外委員) 中期計画の後半部分に、「教育環境を整備する。」とあるが、具体的には情報セキュリティ教育を進めるということか、それとも情報セキュリティの教育環境を整備するということか。

(学外委員) セキュリティ違反をしないような教育をするのか、できないようなコンピュータシステムにするのか。

(学内委員) システム的にもチェックを行い、教育も行う。

(学外委員) 倫理教育等のウェイトが高いようであれば教育環境整備ではないか。

### 審議事項3 第3次学内補正予算の編成等について

辻理事から、第3次学内補正予算の編成等について、①財源（見込み）、②使用計画（案）、③今後の取扱い、④中期目標期間を超える事業の実施計画について説明があり、以下の議論の結果、これを了承した。

(学外委員) UECエコキャンパスプロジェクトで、総理の公約どおり削減するとどうなるのか。

(学内委員) 想像がつかない。根本的に技術開発がないと今の技術では無理ではないか。

(学外委員) サーバー等を外部委託した場合、大学の削減になるのか。

(学内委員) サーバー等を外部に委託することを計画している大学も出てきているが、相当の費用がかかる。

(学外委員) 週休3日にしてはどうか。

(学内委員) 実験等で機器を使用しているため、一斉休業をしないとあまり効果がない。

### 審議事項4 資金運用計画について

辻理事から、①運営費交付金、自己収入等、②目的積立金、③奨学寄付金について、満期となった利付国債及び定期預金の預け替えを含めた短期運用を行いたい旨説明があり、これを了承した。

### 審議事項5 平成22年度以降における消費税算定方法等の見直しについて

辻理事から、平成22年度以降における消費税算定方法等の見直しについて、法人化以降現在の「一括比例配分方式」を続けていたが、改めて消費税計算の見直しを行った結果、「個別対応方式」を導入することにより、消費税の減額をすることができるため、今後そのための準備を行い、平成22年度から「個別対応方式」の導入及び留保消費税の廃止した旨説明があり、これを了承した。

### 審議事項6 国立大学法人電気通信大学規則等の制定に関する規則及び規程について

辻理事から、本学の規則等の区分及び制定手続等に関し必要な事項を定める、国立大学法人電気通信大学規則等の制定に関する規則及び規程を制定したい旨説明があり、以下の議論の結果、これを了承した。

(学外委員) 機動的に規程レベルが作られるようにしていただきたい。可能なら行為の早さについていけるぐらいの規程制定ができるような委任事項を作っていただきたい。

(学外委員) 規則や規程のプライオリティは何かで決まっているのか。

(学外委員) 一般的には法律に位置づけられているのが規則であり、それ以外は規程である。民間では規則は就業規則で他はすべて規程が上位である。

#### 討議事項1 教員一元化の制度設計について

梶谷学長から、教員一元化の制度設計について、大学全体で無駄をなくすこと及び教育研究のセクショナリズムをなくすため、教員一元化を図りたい旨説明があった。次いで、酒井理事から新体制について、従来体制との違いについて説明があり、次の意見交換の結果、次回の本会議で審議することとした。

(学外委員) 人事権は人事調整委員会が持つのか。

(学内委員) 具体的に人を決めるのは現場に任せるが、学部等において判断が出来ない場合に人事調整委員会で大綱や人事計画策定指針に基づき判断する。

(学外委員) 大学では難しいと思うが教員の人事評価が必要ではないか。

(学内委員) 教員の評価は、いろいろなデータベースを使用して行っている。

(学外委員) 学術研究院は何のために必要なのか。

(学内委員) 学術研究院では、部局等から、採用したい分野等の要求に対しての審議を行う。

(学内委員) 今までの局所的な最適化ではなく全学全体の最適化のため、学術研究院全体で何が必要かを議論するものと思っている。

(学外委員) 大学全体で最適化するはいいが、名称が紛らわしい。

人事調整委員会や全学教育・支援機構や経営協議会との機能・責任分担も分かりにくい。

(学外委員) 学術研究院は、大学全体を変える原資になりうるが、逆に現場としては恐いのではないか。

(学外委員) 役員会の下に委員会組織等を置き、議論できる場を作れば、あえて学術研究院を作らなくてもいいのではないか。

(学外委員) 学術研究院に権限を持たせない方がいいのではないか。規則とか規程とか持たせたら動かない。

(学外委員) 学術研究院に教授会を作ることは問題があるのではないか。教授会で人事をやらないのが、法人化の目的のひとつであり、またひとつ教授会を作ると学長がやりにくくなるだけでは。

(学内委員) 最終権限は学長にあり、今まで別々にやっていたものを一緒にし、全体がひとつの人事をやるということである。

討議事項 2 全学教育・学生支援機構(仮称)の設置について

田中副学長から、全学教育・学生支援機構(仮称)の設置構想について説明があり、以下の意見交換の結果、次回の本会議で審議することとした。

(学外委員) アドミッションセンターができて、大学教育センターに対応する位置に入試委員会を置く必要があるのか。

(オブザーバー)委員会の位置をどこにするのか非常に難しいが、現段階では現場の先生方がおられる位置に置くのがいいとした。

報告事項 1 平成20年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

梶谷学長から、国立大学法人評価委員会から平成20年度に係る業務の実績について、本学はすべての項目について順調に進んでいるとの評価を受けた旨報告があった。

梶谷学長から、以下の報告事項2から11については、資料をご覧ください、質問等があれば別途お問い合わせいただくこととして、時間の関係から説明を省略する旨報告があった。

報告事項 2 外部資金受入状況について

報告事項 3 平成21年度第1次補正予算の執行の見直しについて

報告事項 4 平成22年度科学研究費補助金の新規募集課題の公募停止について

報告事項 5 平成21年度就職状況について

報告事項 6 (暫定)施設活用調整WGの設置について

報告事項 7 AWC C外部評価委員会報告書について

報告事項 8 電気通信大学特別客員教授称号授与規程の制定及び特別客員教授称号授与について

報告事項 9 電気通信大学感謝状贈呈要項の制定及び感謝状の贈呈について

報告事項 10 ICTトライアングルフォーラム2009実施報告について

報告事項 11 「国際交流ラウンジ」の設置について

その他 1 飯島澄男特別栄誉教授の文化勲章受章記念シンポジウムについて

梶谷学長から、飯島澄男特別栄誉教授の文化勲章受章を記念して、平成22年1月26日にシンポジウムを計画している旨説明があった。

(閉会 12時8分)

[配付資料]

- ①. 電気通信大学人事活性化大綱（案）
- ②-1. 修正を求めた意見に関する対応状況
- ②-2. 更なる検討を求めた意見に関する対応状況
- ②-3. 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等について（通知）
- ②-4. 中期計画に記載することが必要な事項等について
- ③-1. 第3次学内補正予算の編成等について
- ③-2. 中期目標期間を超える事業の実施計画について
- ③-3. UECエコキャンパスプロジェクト（仮称）＜政府方針を踏まえたCO2削減方策＞
- ④. 資金運用計画について（案）
- ⑤. 平成22年度以降における消費税算定方法等の見直しについて（案）
- ⑥-1. 国立大学法人電気通信大学規則等の制定に関する規則（案）
- ⑥-2. 国立大学法人電気通信大学規則等の制定に関する規程（案）
- ⑦. 教員一元化の制度設計（案）
- ⑧. 新大学教育センター設置準備WG第2次案報告：最終案
- ⑨-1. 平成20年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
- ⑨-2. 国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成20年度に係る業務の実績に関する評価について
- ⑨-3. 国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成20年度に係る業務の実績に関する評価結果の概要
- ⑨-4. 国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況
- ⑨-5. 平成20年度における国立大学法人及び大学共同利用機関法人の業務の実績に関する評価の結果についての意見
- ⑩. 外部資金受入状況一覧
- ⑪. 平成21年度第1次補正予算の執行の見直しについて
- ⑫. 平成22年度科学研究費補助金の新規募集課題の公募停止について
- ⑬. 平成21年度就職状況一覧
- ⑭. （暫定）施設活用調整WGの設置について
- ⑮. 国立大学法人電気通信大学先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター（AWCC）外部評価委員会報告書
- ⑯-1. 電気通信大学特別客員教授称号授与規程（案）
- ⑯-2. 特別客員教授候補者推薦書（多野良木 健 氏）
- ⑰-1. 電気通信大学感謝状贈呈要項（案）
- ⑰-2. 感謝状贈呈候補者一覧
- ⑱. ICTトライアングルフォーラム2009実施報告
- ⑲. 「国際交流ラウンジ」の設置について
- ⑳. 飯島澄男特別栄誉教授文化勲章受章記念シンポジウム